

中国に設立した現地法人をどんなに厳格に管理しても、社歴が長くなるほど様々な「ほころび」が出てきます。その中でも「不正」は、日本人駐在員が発見することも、発生を防止することも、極めて難しいテーマです。

この研修会では、クライアントの監査業務の中で直面对応した多くの不正事例の中から典型事例をご紹介します。不正を発見するポイントや発生後の対処方法、そして発生させないための体制構築に関するエッセンスを、最新事例に対応したオリジナル・テキストを使い、4時間でコンパクトにお伝えします。

2019年11月21日(木) 広州 中信広場 13階 弊社セミナールーム

13:00 受付開始

13:15～14:55

1. 現法内不正の5つの典型パターン 購買 営業 総務 財務 人事
2. 発票至上主義の弊害 日本人が理解していない論点
3. 不正のチェックポイント 労務施策と大きな関連が 犯罪心理の観点から
4. 外部通報システムの構築 不正抑止に最も効果的な手法

15:10～16:55

5. 発覚した不正への対処 刑事告訴まで考えるのか？
6. 内部チェック体制の構築 非上場企業に合った体制構築を
7. 商業賄賂の留意点 補遺：日頃の経理管理手法のポイント

16:55 研修終了

受講料(お一人) 1500 元(税込) 但し、11月14日(木)までのお申込は、早期特典割引で **1000 元(税込)**

講師 前川晃廣 IBJ コンサルティング 総経理(広州在住)

下段に必要な事項を記入して PDF で **seminar@ibj.tokyo** へメールでお送りください

貴社名	(発票に記載しますので、正式名称を中国語でご記入ください)		(○をつけてください)
日本 ご本社名			1. 一般受講料 1,500 元(税込) 2. 早期特典受講料 1,000 元(税込) (11月14日(木)お申込分まで)
ご芳名			お役職
E-mail			(○をつけてください)
お電話	発票 について		イ. 普通発票 口. どちらでもよい ハ. 専用発票(「納税人識別番号」「基本口座開設銀行名」 「基本口座番号」「会社登記住所」「会社電話番号」を別途お知らせ下さい)
ご住所	(〒)		
通信欄	中国ビジネス歴 年 / 中国駐在歴 年 / 出張者		

※お申込受領後、ご記入いただいたメールアドレスに「請求書」をお送りします(満席の場合もご連絡します)

※お申込後、2～3日経っても連絡がない場合は、お手数ですが事務局までご一報ください

※「請求書」をご確認いただきましたら、受講料のお振込をお願いします

※お振込をいただいた方には、研修当日、正式な領収書(発票)をお渡します

※お申込後に参加できなくなった場合は、代理の方の出席も可能ですが、ご欠席の場合の受講料返金はいたしかねます

※電話でのお申込はお受けしかねます、何卒ご諒承ください

※ごく稀に研修内容の一部を変更することがありますので、予めご諒承願います

※セミナーの録音・録画・撮影と、同業者様のお申込は、お断りします